



## 「選択」の連続

道が二つに分かれている時、右か左か行き先が異なっているとしたら、どちらを選ぶでしょうか？ しかも、選ぶ時に行き先は分からないとしたら……。さらに3つ以上の分かれ道に出会ったら……。

私たちは人生を歩む中で様々な「選択」に出会います。長い人生の「選択」は、二択一択だけではなく、もっと多くの「選択」をしていきます。今の自分のことを考えると、何千、何万通りの「選択」のうちの一つを選んで存在しているとも言えます。

今の小学生の子供たちもいずれ「選択」に直面します。誰もが出会うのは進路選択でしょうか。誰かに準備してもらうのではなく、誰かに決めてもらうわけでもなく、自分の人生を自分で「選択」していく基礎づくりは小学生でも必要かと思えます。周囲の協力・力添えも必要ですが、してもらうことが当然となってしまうと、自分で「選択」するという大きな力が育たなくなります。自分の「選択」に後悔をしたり、他人のせいにしたりしないためにも、自らの力で「選択」する力は大事なことだと考えます。



## ランランタイム（7分間）が始まりました。 11月5日（火）～

ある一定距離、一定時間を走り通すことで、私たちは自分の体力を知ることができず。11月から始めました「ランランタイム」は、まさに体力の向上をねらいとしています。しかしながら、走ってみると「7分間」は長いと思います。それをやりとおそうとする子供たちの頑張る姿は素晴らしいと感じます。

この「7分間走」をどうやって達成するか。常日頃から登下校を含めた長い道のりを歩き、昼休みは運動場で鬼ごっこやサッカー等を行いながら、汗を流すことにより培われるのでしょうか。あるいは、社会体育やスポーツクラブをとおして、身に付けた力でしょうか。

近年は、「ウォーキング」、「ジョギング」という言葉を耳にしますし、朝夕はよく見かける光景です。また、休日のテレビの映像でも、「ジョギング」をしている人々の姿を見ます。膝や腰の痛みを抱える人が多いのですが、私たちの健康志向は高いようです。生涯体育と言われるように、年齢を重ねても自分の健康のため、何かしら運動に携わり、足腰を丈夫にし、健康を維持したいものです。

### <校長の思い出>

長い道のり(しかも、登下校の行きは下り坂、帰りは上り坂)を歩いていた同級生には、なかなかマラソン(持久走)大会では勝てませんでした。一緒に走った(1月半ばに行われていた)「有家町のマラソン大会や駅伝大会」、中学校での駅伝練習等のおかげでしょうか、今でも交流があります。健脚を競う、励まし合うということは、思い出の1ページとなっています。

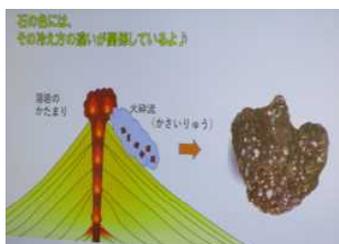
ところで、学校だけにとどまらず、自分の力を試すためにも、地域のマラソン大会(有家・西有家の青少年健全育成マラソン大会、原城マラソン大会等)の大会に出場してみるのはいかがでしょうか。

インソップのお話(寓話)「うさぎとかめ」を思い出しますが、長い時間続けることが大切のようです。



## 5年生 ジオ学習 「岩石標本づくり」 11月1日(金)

ジオパーク協議会から専門員:森本 拓 様、認定ジオガイド:永田 ゆき子 様をお招きして、島原半島を構成する岩石について学習を進めました。子供たちとの対話の中で、岩石には、形・手触り・色・におい等の違いがあるという意見が出され、子供たちは目を輝かせ、岩石の成り立ちや火山の噴火などを確かめながら標本づくりを行いました。島原半島ができた時のこと、阿蘇山の大噴火、雲仙普賢岳の噴火災害等についても学び、長い年月を経てたどり着いた石だったということを考えると、これまた、自分だけの岩石の標本となったようでした。



## 2年生 給食センター・有家図書館見学 11月1日(金)

2年生は親子で給食センターの見学を行いました。右写真は巨大なしゃもじとひしゃくを持っている様子です。衛生管理のためにエアームドで体のほこりやゴミ等を取り除き、服装などの着用も体験したそうです。普段見ることのできない給食センター見学。調理員の皆さんの工夫や苦勞を知ることができたようです。見学の後は、親子給食を楽しみました。



その後、有家図書館見学、有家町文化展の展示作品も見学することができました。



## 3年生 社会科見学 (スーパーマーケット、かまぼこ工場)

10月29日(火)は有家町内のスーパーを見学しました。働いている人の仕事の様子、工夫や願い(多くのお客さんに来てもらうための工夫、品物を見つけやすくするための工夫)などを学ぶことができました。教科書や資料だけにとどまらず、実際の施設を見学することで、社会科学習をより身近に感じることができたのではないのでしょうか。子供たちは、ますます地域社会に関心を持ち、日々新たな疑問や発見を抱くのではないかと思います。

また、11月11日(月)は、深江町の蒲鉾工場を見学しました。食料生産に携わる人々の努力や地域社会の生活向上のための関わり・工夫を学びました。衛生管理が徹底された工場では、少々緊張気味でちくわ作り体験も行い、子供たちの関心を高めることができました。引率した先生方からは、様々なことに興味を持ち、大事なことを落とさないように、メモを取るなどして学びを深めていたと聞いております。



## 6年生 薬物乱用防止教育 11月12日(火)

学校薬剤師:吉田 恵美子 先生をお招きして、薬物乱用防止教育を行いました。

まず、薬は、健康な状態に戻るのを助ける働きがあること、薬には決まりがあること、薬は体に負担がかかり、副作用があることを学びました。また、脳は情報を瞬時に捉え、運動をコントロールする。薬物を乱用すると、脳は、現実と過去の記憶の区別がなくなる。自分の判断で、薬の量を変えてはいけない等と教わりました。

私たちの周りには、誘ったりだましたりする人がいないとも限らないので、①規則正しい生活をして、社会のルールを守る。②気になっていることは家族や先生に相談すること。一人で悩まない。③自分の考えをしっかりとって、正しくないと思ったことはハッキリ断る勇気をもつ。④自分が大切に思う人、自分を大切に思ってくれる人を考える。一人一人がかかけがえのない存在である。ということを確認しました。

